

庁舎建設事業

よりよい水を未来へつなぐ～継承・発展型庁舎

基本方針

地域密着型：周辺地域の環境に配慮した、活気あふれる町づくりの拠点となる庁舎

防災拠点として安心・安全：災害時の水道ライフライン復旧活動の拠点となる庁舎

人と環境にやさしい：環境負荷の低減に努め、自然エネルギーを活用した省エネ型庁舎

建築に至る経緯

現在の庁舎は、昭和46年に竣工し、築44年が経過しております。昭和56年の新耐震設計法の導入前の建物であり、現在においては耐震性能に問題を抱えております。

これまでに、2度の大地震（阪神淡路大震災、鳥取県西部地震）に遭遇し、その都度耐震調査・診断を実施しておりますが、いずれも「崩壊または崩壊する危険性が高い」という結果となっております。

つきましては、上記コンセプト並びに基本方針に基づき、車尾水源内南側の敷地に新庁舎を建設することといたしました。

建設概要

新庁舎 鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ床面積 約3,308平方メートル
エレベーター設置

1階： 営業課・給水維持課・食堂・宿直室・更衣室（男女）・休養室（男女）
印刷室・長期保管庫など

2階： 管理者室・応接室・総務課・計画課・施設課・長期保管庫・電気室・
機械室・電算室・更衣室（男）など

3階： 大会議室・小会議室（3室）・長期保管庫・機械室など

屋上： 太陽光パネル設置

資材・倉庫棟 鉄骨造 平屋建て 延べ床面積 約644平方メートル

車庫： トラック1台・給水タンク車2台

倉庫： 量水器保管庫 資材置き場など

車庫棟（2棟）鉄骨造 平屋建て 延べ床面積 約392平方メートル

事業計画工程

| | | |
|---------|----------------------|------------------|
| 平成26年度 | 建築主体基本設計 | 日本上下水道㈱・・・完了 |
| | 建築設備基本設計 | ㈱ティビィエム・・・完了 |
| | 土木工事実施設計 | ㈱エースプラン・・・完了 |
| 平成27年6月 | 建築主体実施設計 | (㈱白兔設計事務所米子事務所) |
| 同上 | 建築設備実施設計 | (㈱ティビィエム) |
| 平成27年8月 | 庁舎建設に伴う土木工事 | (㈱ミテック) |
| 平成28年3月 | 実施設計(建築・設備共) | 完了予定(建築確認申請許可まで) |
| 平成28年4月 | 工事発注(建築主体・機械設備・電気設備) | |
| | 施工監理業務発注 | (建築主体工事) |
| 平成29年5月 | 工事完成予定 | (必要工期 実質12ヶ月) |
| 平成29年 | 引越し | (時期未定) |
| 平成29年 | 解体工事 | |

概算事業費

(消費税込み)

| | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 設計等業務 | 建築主体工事 | 機械設備工事 |
| ¥79,450,000 | ¥868,300,000 | ¥264,600,000 |
| 電気設備工事 | 土木工事・配管移設等付帯工事 | 解体工事 |
| ¥263,500,000 | ¥110,000,000 | ¥72,000,000 |

総事業費 約¥1,658,000,000



米子市水道局新庁舎

3.建築計画

3-1.施設配置計画

3-1-1.建物配置

建物の配置にあたっては、周辺の街並みや景観に配慮した計画とします。

周辺環境に対する配慮

敷地西側の民家に対し、威圧感を与えないように各施設を配置する。
また、民家からの大山への眺望を妨げない計画とする。

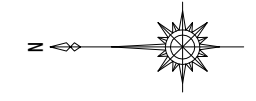
庁舎へのアプローチ

敷地西側に新たに設けた場内メインエントランスよりアプローチする。

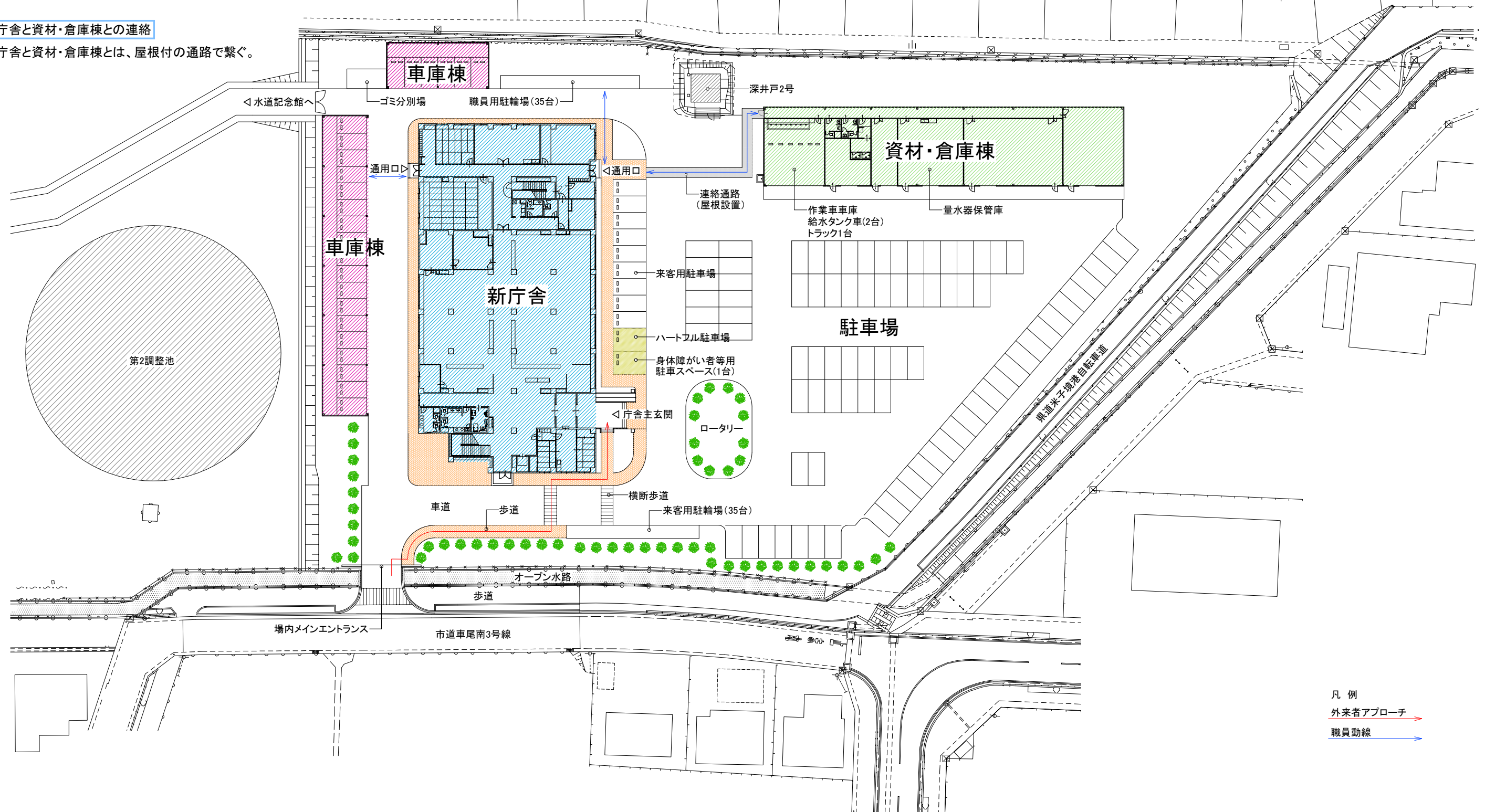
庁舎と資材・倉庫棟との連絡

庁舎と資材・倉庫棟とは、屋根付の通路で繋ぐ。

一級河川 日野川



県道福成戸上米子線



- 凡例
- 外来者アプローチ
 - 職員動線